

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 12 月 11 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3491700096		
法人名	株式会社ディア・レスト福山		
事業所名	グループホーム松花園		
所在地	広島県府中市上下町上下851番1		
	電話番号	0847-62-8322	
自己評価作成日	2018年10月14日	評価結果市町村受理日	平成 30 年 12 月 25 日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	平成 30 年 11 月 16 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

職員一同が企業理念である「ひとにやさしい介護を目指して」の実現に向けて取り組みながら、入居者様の安全、そして、安心して生活していただけるようにスタッフ皆で一致団結して頑張っています。また、医療機関との連携により、入居者様がいつまでも健康で、その人らしく、穏やかに、笑顔で過ごしていただけるように努めています。入居者様も気軽に園庭散歩や、園外の散歩・ドライブ・買い物など気分転換ができる施設です。ご家族様にも入居者様の日頃の生活が見えるよう、広報誌・写真・手紙などを請求書などと一緒に送らせていただき、安心していただけるように努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

上下駅がすぐ傍にあり利便性が良い。コンビニも隣にある。目の前は伝統ある白壁の町並みが広がりロマン溢れる恵まれた環境である。協力医療機関の府中北市民病院も近くにあり、24時間体制の医療連携が構築されていると共に病院のお祭りに参加したり、また、勉強会にも参加させてもらう等、繋がりが深くなっている。また、職員の中にも看護師が複数名いる為、日々の健康管理も万全であり、医療面は安心である。ケア面に於いても理念に掲げられている「利用者一人ひとりに合わせた介護、人に優しい介護を目指して」という理念を全職員が意識し、利用者に寄り添い、個々を大切にその人の残存機能が活かせる場面作りや抑圧しない支援に努められている。地域の行事にも地域の一員として積極的に参加し馴染みの人や昔馴染んだお祭りやイベントで懐かしさを感じてもらえるよう取り組まれている。又、運営推進会議等では分野の違う多くの方の参加があり、情報や意見等が得られると共に協力体制が築かれている。ボランティアや保育園児の訪問等で笑顔になれる機会を多く持ち、又、事業所の行事も運動会やバーベキュー大会、秋祭り等色んな催しを企画され楽しまれている。管理者、職員も常に思いやりと優しさを忘れず、その人がその人らしく住み慣れた場所で安心安全に生活してもらえるよう一丸となり取り組まれていると共に今では地域、医療機関、行政、近隣の事業所との関わりを大切にお互いに協力し合い利用者を支えている。まさに地域に開かれた事業所となっている。今後大いに期待したい。

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ディア・レストグループ全体の理念である「ひとに優しい介護」を共有し実践しています。松花園でも笑顔・丁寧な言葉遣い等、大切にしています。	企業理念や企業目標、又、事業所独自の目標、笑顔で接する、寄り添って行く、それらを日々、継続、実行すると言う事を掲げられ勉強会等で周知し、全職員がブレの無いケアを実践する様取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベント・祭りへの参加。地元ボランティア様・地域の知り合いの方等の訪問、そして、地元の保育園児の来園や、ショッピングセンターでの買い物。秋祭りには、たくさんの方の来園がありました。選挙にも参加希望者は投票に出かけておられます。隣町の祭りにも出身の方には、参加	地域の多くの行事やイベント等に積極的に参加すると共にオカリナコンサー、唄や琴等のボランティアの方、又、保育園児の訪問等沢山の方が訪問されている。事業所のお祭り等にも地域の参加が多くあり、地域の一員としての交流が密に図れている。近隣の方が気軽に訪問されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	松花園の行事に、地域の方やボランティア様に参加していただき、取り組みを見て頂いています。商店街にもよく散歩に出かけ、地元の人との触れ合いもあります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事や取り組み、入居状況の報告。他施設の情報も頂き参考にしています。今年も1年間の行事DVDを作り運営会議で見て頂きました。	家族代表、町内会長、民生委員、行政(3名)消防団長、市議員、交番所長等の参加の下、広範囲に現状報告をされ、日頃の様子はDVDを見てもらい理解してもらっている。又、それぞれの方々からの質問や情報、意見等も頂きサービスに活かしている。毎回協力的で有意義な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に参加し、地元施設・病院・市町村担当者との意見交換、また、運営会議でも情報を交換できています。北市民や、府中市民病院の勉強会には、積極的に参加し交流をしています。また、去年から始めました北市民病院祭りにも松花園からも参加し、病院関係者・市の職	運営推進会議の中や月1回は色々な点で相談に行く事があり、顔馴染みの関係はできている。地域ケア会議等に参加することで包括の方や行政担当者などから情報や意見等も得られ協力関係は密にできている。又、市民病院の研修にも参加し、連携や協力関係も構築されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議で虐待の勉強会も毎月行っています。見守りを心がけ、身体拘束のないケアに取り組んでおります。夜間9時以降は玄関の施錠。日中は、自由に出入りしていただき、スタッフの見守りの必要な方はいたしております。新しいスタッフも加わり、勉強中です。	基本身体拘束はしない方針である。外部研修や内部研修も行い、全職員正しく理解している。不穏な方には連携を取り、制止せず見守りで対応し抑圧の無い支援に取り組まれている。言葉の拘束に対しても事例を基に勉強会を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な勉強会を行い、情報を共有しています。また、日頃の生活の中で、私たちが虐待の意識がなくなっている事もあるので、スタッフ間での話し合いを行うようにしています。入居者様の細かな変化にも対応するようにしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を以前手続きをして、活用されておられた入居者様もいます。現在はおられません。管理者・ケアマネは、勉強をする機会がありましたが、松花園での職員の勉強会はいたしてありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には家族様や、ご本人様に見学に来ていただき説明をしております。契約時にも時間をかけて説明致しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様よりスタッフに要望が入った際には、連絡ノートや会議にて話し合いの場を持つている。運営会議に家族様も参加されており、その時にも貴重なご意見を頂き、反映させていただいております。ご意見箱も設置していますが、お礼の手紙のみです。	訪問時や運営推進会議への参加の家族、家族会等で意見や要望を把握する様努めている。それぞれの場面で把握した事は記録され運営に反映すると共に個々に対応している。定期的に利用者担当が日頃の様子に写真を添えホーム便りと共に送付し現状をお知らせし、意見等も気軽に言ってもらよう取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、全体のミーティングを行っております。その会議で意見や提案を行い、新しい決まり事をみんなで決めるようにしています。また、会議で決まったことでも、次の会議で意見を聞き、変更することもできるようにしています。会議の前にも、各委員会の担当者の意見も参考にしています。	日々気付きがあれば、その都度聞くようにし、会議の中や申し送りの際等でも聞く機会を設けている。検討すべき案件は記録し、会議で検討し、反映させるよう努め、職員の意見は大切にしている。個人面談の機会もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	特に新人スタッフには、思いや考えを聞いたり、伝えたりしてコミュニケーションに努めている。時間外労働はできる限りしないようにしている。時間外のある場合には、時間外を付けている。スタッフが働きやすい環境を心がけており、有給も取りやすい環境になってると思う。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外の研修にも参加させてもらっています。積極的に研修や、資格を取得する職員が増えてきています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月に1回地域ケア会議参加。北市民病院の勉強会・府中市民病院の勉強会にも参加をし地域の同業者と交流をしています。又、福山・広島・三次・山口のディア・レストグループとの交流もしています。他事業所の良い所は生かしてここでのケアにつなげている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前情報をスタッフ間で共有し、ご本人様と関わっております。そして信頼関係を作りながら、良好な関係がきづけるように努めております。できるだけ、寄り添い傾聴し、色々な情報を集めています。安心して生活していけるように、笑顔での対応を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に感じておられる事や要望などに対して出来るだけ傾聴しています。そして施設でどのように過ごして頂きたいかを聞きとり、要望にこたえられるようにしています。買い物希望の入居者様mの対応もしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様・本人様が、今一番必要としている事、困っている事を確認して、スタッフ間で共有し良い支援に繋がるようにしています。そして、できるだけ希望に沿った生活ができるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できるだけ入居者様に寄り添い、昔の話や、今思っておられる事を傾聴し、入居者様・スタッフが、なんでも言い合える家族のような関係になれるように努めています。ほしいものも気軽に言っていただき、買い物に行くことや、レクの段取りをすべてして下さる入居者様もおられます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携も大切に致しております。行事への参加も連絡し、変わった事があった場合には細目に連絡をしております。毎月1回施設での生活状況を手紙で写真と一緒に送っています。外泊・外出など家族様との交流もできております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの店に買い物に行ったり、入居者様のお知り合いの方も面会に来られています。地元のボランティアの方々や地元の傾聴ボランティアの方たちにも来て頂いています。また、実家に何名かの入居者様と一緒に帰り、柿・ゆずを採りに行くこともあります。また、地元の祭りに職員と出か	家族、親せき等の訪問や知人の方も気軽に来られる。又、馴染みのお店や理容院等利用する方、お正月には自宅に外泊、日帰りする方等馴染みの場所や人との関わりを大事にするよう柔軟な支援を心掛けている。携帯電話を持たれている人もいて、知人等に自由にかかけられている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1人ひとりの性格などを把握し、玄関先で歌を歌ったり、お茶をしたりしています。気の合う入居者様同士でドライブに行ったりもできています。入居者様の気分転換の為のドライブにも出かけしています。(ホーム長運転)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された入居者様も家族様と遊びによって下さる事もあります。他の施設に変わられた時なども、話をしに面会に行くこともあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションにて希望を聞きとる事のできる場合には聞きとりをし、希望に沿った支援をしています。洋服を一緒に買いに行く事もあります。言えなくても、できるだけ感じ取りスタッフで話し合う場を設けて、できるだけ本人様の意向に沿った手助けをしています。	日々の会話や利用者さん同士の話の中から、また、夜間や個別対応時等に思いが把握できる。それぞれの場面での思いは記録し、可能な限り意向に沿うよう取り組まれている。表出困難な方には選択史を出しその時の表情等から汲み取り検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報収集にて生活歴・生活環境を聞きとり、又、入居されてからの生活の中でその人にあった支援ができるようにコミュニケーションを取り、現在の入居者様にあった支援ができるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の体調の変化等にも気を使い、記録に残しています。手伝って頂ける事はお願いして、毎日の役割として手伝ってもらっています。できるだけADLが低下しないように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族様からの希望、本人様からの希望をなんでも話して頂き、計画に反映している。また、スタッフの意見も聞き、現状に即した介護計画を作成しています。	毎月モニタリングを行うと共に日々の状況からニーズや課題について、ケア会議で職員の意見や家族の希望、主治医の所見等を基に担当者会議で検討し、本人本位の柔軟な計画を作成している。見直しは半年、状況変化が起きた場合はその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づき等こまめに記録に残し共有している。そこからの情報を見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様のニーズに合った支援をするように心がけています。家族様にも相談しながら、入居者様のニーズにこたえるようにしています。できるだけ、他の施設がしていないようなことができるように努めています。例えば、気分転換のドライブ・買い物・旅・・・		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や、民生委員の方の面会・近所の方に来園していただいています。傾聴ボランティア様にも来園していただき、昔の話や、色々な話を聞いて頂いています。保健センターでの夢体操への参加。また、ショッピングセンターへコーヒーを飲みに行く、祭りにも参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による施設での往診・家族様の希望されている病院への受診・希望される医療を受けられるように支援している。北市民病院との交流も積極的にしている。	協力医療機関の往診が毎週月曜日、歯科は通院受診支援をされている。看護師の職員も複数いる為健康管理は安心である。又、協力医療機関との連携が構築されている。夜間や緊急時等の対応も万全である。結果等は、家族に報告し共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が4人現在勤務しているので、常に報告・相談し、支持を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関の北市民病院の相談員とのこまめな連絡はとれている。入院時にも、ほとんど毎日お見舞いに行き、体調の確認を病院看護職から頂けるように努めている。松ヶ丘花園の往診時にもドクターからの報告を頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した場合のご家族様の意思確認を記入していただく。また、状態の思わしくない時には、医師に報告。ご家族様に報告。今後の方針を確認している。往診時に家族様に来園していただき、医師からの説明も都度都度いただいております。施設内での看取りもしています。	利用開始時、指針を基に説明し理解が得られているが、状況が変化した場合は、主治医から家族に状態を報告されると共に意向をその都度聞き取り、三者で方針を共有し家族の協力を得ながら看取り支援されている、協力医療機関との連携が密にできていて、夜間でも看護師が主治医の指示で対応してもらえるという関係が構築されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応として、ドクターより救急車は呼ばずにすぐに車対応をするようになっています。5分もあれば病院まで到着できるため。そのほか、会議にて緊急時の連絡方法などの話もしています。常に看護師が勤務しているので、安心です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スタッフの連絡網の作成。年2回の消防避難訓練を行い、指導を受けております。運営会議で町内会様との連携もお願いしています。災害時の避難場所の協力もお願いしています。	年2回、消防署指導の下、通報、消火。避難誘導の訓練を実施し、慌てず的確に対応できる様取り組まれている。運営推進会議で報告し協力をお願いもされている。訓練には町内会長の参加も得られた。消防技能大会へも3名が参加され実践力を身につけている。	

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としての対応をスタッフ一同心がけています。また、入居者様のプライベートなスペースに入る場合には、マナー違反の無いように徹底し、声掛けや、表情などにも気を付けています。	個々を尊重し、言葉かけや対応には気を付けるよう周知すると共に馴れ合いになっても常に節度ある対応をするよう心掛けている。職員間でも気づいた時は注意し合っている。又、プライバシー、個人情報、接遇等の研修も行い、統一した支援ができる様取り組まれている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が思いや希望を表現できるような、施設内の雰囲気作りや、関係づくりが出来ている。日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を作るように心がけています。ほしいものなども、入居者様から言ってくださっており、買い物や、ドライブなどにも一緒に出掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に出来る限り希望に添えるように心がけております。入浴時間や、ドライブなど希望にこたえている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で出来る方は身だしなみに気をつけておられますが、そうでない入居者様は、スタッフが注意して対応させてもらっています。化粧をされている入居者様は、化粧品の購入など、買い物に行ったり、家族様に持ってきてもらっています。美容室希望の方は、送迎にて数名行かれていま		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	庭園にてつくつた野菜を入居者様と収穫して調理に使っています。(浅漬)下善できる方にはして頂き、食器洗いのできる方には、手伝っていただいております。食レクなども行っています。入居者様の好きなものを聞き取り、メニューに生かしております。	身体状況に合わせた形態で食を促す声かけや雑談をしながら楽しく食べられている。配膳や下膳、テーブル拭き等、力量によりしてもらい労いの言葉もかけられている。おやつ作りや行事食(月2回)は一緒に作られ愉しまれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は常にチェック記録に残しております。一人ひとりに合った食事量・形状にして対応しております。意思疎通のできる入居者様には、食事量を聞くようにしている。水分のなかなか進まない入居者様にも、工夫して飲んでいただけるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助が必要な方は介助させてもらったり、一部介助など、その人に適したケアをしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し声かけをしたり、または、ポータブルトイレを利用して頂くなどの対応をしています。より適した方法を考えながら色々試しながらケアをしています。	日中は個々の時間帯でトイレ誘導をされ、生活習慣と機能維持、気持ち良く排泄できる様取り組まれている。立位が難しい方でも2人介助で対応している。自立の方にはプライバシーに配慮し見守りで対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを理解して、下剤の調節をさせて頂いています。看護師・医師にも相談しながら、予防に取り組んでいます。また、体操・レクなどで体を動かしていただいています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	月曜日から、土曜日までを入浴日として、対応していますが、日曜日に希望がある場合には、対応しております。1週間に2回以上の入浴の声かけを行っております。また、拒否のあった場合には、時間をずらしたり、日を変えるなどの対応をしています。	希望があれば回数にはこだわらず対応している。出来るだけ週2回は入浴してもらえるよう取り組んでいる。時間帯は決めているがその中で順番や湯温の希望には応えている。拒否の場合はタイミングや声かけなど工夫をし、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限り、本心様の意思を尊重し、自由に休息して頂いております。照明の明るさなども好みに合わせて調節しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があるときには、その都度確認をして、連絡ノートや業務日誌に記入してみんなが確認できるようにしています。また、入居者様の症状の変化にも早期に気づけるように対応しております。全てのスタッフが、今入居者様が飲まれているお薬の副作用などを覚えてはいないが、その		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を干して頂いたり、たたんでいただいたり、玄関の掃除、室内のモップ掃除、園庭の落ち葉を履いて頂いたりしています。ショッピングセンターに買い物に行ったり、ドライブに行ったりと、気分転換の時間を作ってます。ノンアルコールビールや、ケーキなどを購入して、パーティーな		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望者には、洋服を買いに甲山に出かけたり、ショッピングセンターにて買い物をしたり対応しています。今年も、平和公園に千羽鶴をもっていきました。広島出身の入居者様と行きました。商店街や、保健センターの夢体操にも歩いて(車の人もいます)出かけています。	四季の外出(花見、紅葉)や地域行事(雛祭り、かがし祭り)等に出かけている。希望で買い物にも行かれています。遠出の外出では広島市の平和公園へ千羽鶴を持って行く等、その時々季節を感じてもらおう事と気晴らし、五感刺激、楽しみごと、思い出づくりの支援をされている。庭が広いのでそこでお茶を楽しまれたり、散歩も自由にしてもらっている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理のできる入居者様は自分で管理をされておられます。また、施設でのお預かりにて、一緒に買い物に行き対応している入居者様もおられます。そのほかの入居者様・・・みんなでの買い物は、選んで頂き、施設側のお金で対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯を持っておられる入居者様もおられます。各居室に電話線も引けるようになっております。事務所に電話がかかってきたり、電話を掛けていただいたり、事務所で対応をさせてもらっております。手紙でのやり取りをされている方もおられます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設としては珍しい木造建築、壁も土壁作りとなっており、温かみのある建物になっております。冬には、暖炉もあり、おちついた雰囲気にて生活が出来ていると思います。照明も明るすぎず、廊下・リビングも広い作りになっています。季節によって壁紙などの張替えもいたしております。	玄関前に椅子があり、中にも畳の長椅子がある。何時でも一休みでき、季節の装飾品やお花が飾れている。廊下やリビングも広く、暖炉もあり、昔の面影と、懐かしさで穏やかに過ごせる環境である。壁には行事時の写真が貼られ、時折見ることその時が思い出され刺激となっている。食事準備の音や匂いで五感刺激となっている。不快な匂いもなく室温にも配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングが広く、ソファでくつろいでテレビなど見る方もおられます。食事のときの入居者様の決まった席も用意してます。廊下にも座れるスペースも十分あり、天気の良い日は玄関先にも座れるように椅子を用意してます。気のあった人とお茶を飲んだり、歌を歌ったたりして過ごして		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様のお部屋は本人様と家族様に、なじみのあるものをそろえてもらっております。必要のあるものがある場合には、家族様にお願いをして、もってきていただいております。	テレビや思い出の写真、収納ケース、好きな歌手の写真も貼られ、自宅での生活の延長線上となる様工夫され、穏やかに違和感なく過ごせる環境づくりをされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造で、スペースも広く、足元にも危険なものも無いので安全な環境を提供できていると思います。入居者様のできることは、なるべく手伝ってもらい、本人の意思で、園庭を散歩されたりしてます。トイレや、居室にも、名前を貼り、迷われるこのないようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼすべての家族と
			②利用者の2／3くらいの			○	②家族の2／3くらいと
			③利用者の1／3くらいの				③家族の1／3くらいと
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある				③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②利用者の2／3くらいが				②少しずつ増えている
			③利用者の1／3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている	○	①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②利用者の2／3くらいが			○	②職員の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③職員の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2／3くらいが			○	②利用者の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③利用者の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②利用者の2／3くらいが			○	②家族等の2／3くらいが
			③利用者の1／3くらいが				③家族等の1／3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼすべての利用者が				
			②利用者の2／3くらいが				
			③利用者の1／3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム松花園

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 12 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	20	県外への外出を希望されておられる入居者様が いる。なかなか実現出来ていなかった。	安全第一で、外出希望の入居者様の夢を叶えてあげる。	春か秋に外出できる様に計画をまとめる。	1年以内
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。